

3. 経済的に困窮する学生への支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・中本澄代

1) 学生の現状把握（4月下旬）

方法：Google Forms を使った記名式アンケート調査

言語：日本語・ベトナム語・中国語

- ①アルバイト状況へのコロナの影響の有無と程度を選んで答える
- ②生活が経済的にどの程度影響を受けているかを選んで答える
- ③影響を受けている項目を具体的に選んで答える
- ④母国の家族がどの程度影響を受けているかを選んで答える
- ⑤学校に望むことを自由に記述する

2) 現状分析（4月下旬～5月上旬）

困窮度が高いと思われる学生（食事ができない等）から順に通訳を入れてオンライン面談を行い、聞き取りをする。こちらの意図とは別に、経済的な理由ではなく精神的に食事ができなくなっている学生も浮かび上がってきたが、話をすることで落ち着いた学生もいたと感じている。新年度の開始時期ということもあり、同居していた人が帰国し、コロナの影響か新ルームメイトが探せず、家賃支払いに不安を抱えている学生もいた。学校は学生をしっかり見ている、サポートするので、不安や心配は相談するよう伝えていった。

3) 対応（4月下旬～現在）

特定定額給付金は必ず受け取れるようなサポート体制を整え、実行。緊急の経済支援が必要な学生については、学生基金につながるよう連携。